

老健にいがた

2022. 8 Vol.51

第51号



イベント食のソフト寿司が好評です。詳細は16ページをご覧ください。

写真提供：亀田園

目次

巻頭言	1	介護報酬加算等の算定状況アンケート結果報告	11～12
特別寄稿	2	こんなことやってます!!～会員施設の取り組み～	13～16
特集:オムツゼロ 自立支援介護について	3～6	老健マップ	17～18
協会だより	7～10	みんなの広場	19

巻頭言

令和4年度 新潟県介護老人保健施設協会について

会長 松田 ひろし



この度、長らく新潟県介護老人保健施設協会会長を勤められた馬場肝作先生の御勇退に伴い、浅学の私が先の役員会および総会においてご下命を頂き、会長に就くこととなりました。馬場前会長のように、そつなく適切な運営ができるとは思いませんが、一所懸命に勤めさせていただきますので何卒宜しくお願い申し上げます。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大が収まらない中、皆様の施設では老健本来のサービスの質を維持すべく細心の注意を払い、様々な工夫をされていることと存じます。言うまでもなく、家族や知人との繋がりや交流が心身の健康には欠かせませんが、外出や面会の制限が余儀なくされ、心身ともに不安定になられているご利用者の方も少なくないと想像されます。また職員の皆様も、自分や家族の健康管理も同時に行い、毎日緊張感をもちながら勤務されていることに、改めて敬意を表します。

今年度も昨年度に引き続き、感染症対応に追われる1年となるかと思われます。そして恒例の新潟県介護老人保健施設大会や学術、トラブル防止などの各種研修会も、一堂に会しての開催は、この状況下では残念ながら中止せざるを得ません。ただ、委員会は引き続きオンラインで行うことができますので、これまで以上に県内の情報を皆様と共有していきたいと考えております。

皆様の施設から寄せられた情報によりますと、今のところ県内の施設では、ここ数ヶ月は新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しているところは少なくなり、パラパラと1～2名ずつ、あちらこちらで出現している様子です。しかし、減少しているからと言って油断をしていい状況にはまだまだなっておらず、引き続き十分な警戒が必要です。4回目の新型コロナウイルスワクチン接種が始まりましたが、ご利用者も職員も出来るだけ多くの方に受けていただきたいと思います。

全国老人保健施設協会の東憲太郎会長は、コロナ禍の影響は、他の介護施設と比較して老健・通所リハビリが断トツに大きく、かなりの減益になっていると述べていますが、県内の状況も同じです。そのような中で特定処遇改善加算取得やLIFE関連加算の算定は欠かせなくなっています。これらの点については、皆様とさらに勉強し、協力しながら促進していきたいと思っています。

今年度もまたご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

特別寄稿

新潟県福祉保健部

部長 松本 晴樹



新潟県介護老人保健施設協会会員の皆さまにおかれましては、日頃から高齢者保健福祉の向上にご尽力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

また、令和2年初頭より続く新型コロナウイルス感染症において、施設内での感染防止に積極的に取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。更に令和4年に入ってからのおミクロン株の拡大による感染者の急増を受け、本県では、病床のひっ迫を回避するため、高齢者施設においても、原則、施設内療養をお願いしてきたところですが、このような状況下においても、介護の最前線で働く皆さま方が、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に一丸となって献身的に取り組んでいただき、県内の高齢者向けのサービスが継続的に提供されておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、県の調査結果によれば、介護が必要な状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で、安心して生活していきたいと願う高齢者は少なくありません。県では、このような希望に応えるために、「新潟県高齢者保健福祉計画」に基づき、市町村と連携しながら持続可能な地域包括ケアシステムの構築・推進を促進し、住み慣れた地域で生活できる高齢者福祉の実現に向けて取り組みを進めているところです。

介護老人保健施設の基本方針は、「入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることとともに、その者の居宅における生活への復帰を目指すものでなければならない。」とされています。

このため、医師や看護師、リハビリテーション等の医療職、福祉関連職を含めた多様な専門職種の協働により包括的なサービスを提供するとともに、入所サービスだけでなく、通所リハビリテーションや訪問系サービス等、様々なサービスを提供することができる介護老人保健施設が、地域包括ケアシステムの構築において、中核的な役割を果たすものと考えております。

県としても、新潟県介護老人保健施設協会をはじめ高齢者福祉団体と連携しながら、介護サービス提供体制の充実や介護人材確保など、高齢者福祉施設の支援に引き続き努めてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも利用者や職員の皆さまの健康管理や施設の衛生管理の徹底に御尽力いただき、感染症の対応等に万全を期していただくようお願い申し上げます。

終わりに、新潟県介護老人保健施設協会のますますの御発展と会員の皆さまの御健勝を祈念いたしまして、挨拶といたします。

オムツゼロ 自立支援介護について

社会福祉法人恵生福祉会 特別養護老人ホーム なぎさの里

ケア課長 粕川 晶 弘



なぎさの里では、平成26年から新潟県老人福祉施設協議会が主催する介護力向上講習会に参加し、自立支援介護を学び日中オムツゼロ特養を目指して取り組みを行ってまいりました。平成29年には自立支援介護・パワーリハビリ学会より日中オムツゼロ特養に認定され現在に至り、日中はオムツを使わない介護を実践しております。特別養護老人ホームといえば、寝たきりでオムツというイメージが強いと思います。日中オムツゼロとは、オムツを着けず、トイレでしっかりと排泄するという事です。ただなぎさの里では、夜間においてもオムツを使用している方は一部に過ぎず、終日紙パンツ、布パンツとパットで過ごしている方がほとんどです。

自立支援介護の提唱者であります、竹内孝仁氏（国際医療福祉大学大学院教授／日本自立支援介護・パワーリハ学会会長）はどうしても便失禁をなくし、オムツを外していけるかを「水分」「排泄」「食事」「運動」の4つの基本ケアを行うことで改善できると説いています。なぎさの里ではこの「自立支援介護理論」に基づいた4つの基本ケアを実践しています。

（4つの基本ケア）

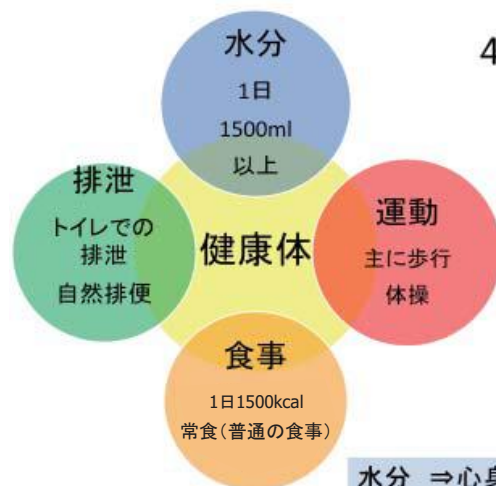
「水分」 1500ml以上の水分をしっかり摂る

「食事」 1日1500キロカロリーを摂り食物繊維も摂る

「排泄」 トイレでの排便をすすめ、下剤を使わない自然排便に整えていく

「運動」 歩行運動・体操・パワーリハビリを行っていく

この4つの基本ケアをしっかり行う事で、オムツは必要なくなります。基本ケアを実践し状態が改善されればオムツが外れると言う事になります。逆に言えば、状態が悪いままではオムツは



4つの基本ケアとは

4つの基本ケアはお互いに強く影響し合っている。

水分が不足すると、体は動かなくなり(運動性の低下)、食欲も低下し、便秘を引き起こす。水分不足のまま歩行練習をしても、成果が上がらない。水分不足のまま下剤を飲んでも便秘は改善しない。したがって、水分・食事・運動・排泄は独立したケアではなく、“4つの項目がそろってはじめて効果を発揮する”

4つの基本ケアは「健康」と「活動性」を支えるもの

水分 ⇒ 心身の活動性そのものを支配する物質

食事 ⇒ 活動力の源

運動(主に歩行) ⇒ 活動そのもので活動性の維持や向上の為に不可欠のもの

排泄(便通) ⇒ 消化器機能に影響し、免疫機能にも強く関わっている為、栄養面から全身を活性化させる

外れないのです。4つのケアは関連し合っていて、いずれかだけを行うことでは不十分です。どれもがお互いに影響し合っているため、どれか一つが欠けたり、いずれかだけを行ったりするのではその効果は半減します。それぞれのケアを丁寧に行うことが「その人らしく元気に生きる」ことに繋がる重要なポイントです。なぎさの里では、この4つの基本ケアを実践していくことでオムツの必要がない生活を目指し実践してきました。

オムツ外しのポイント「水分」

水は身体と意識(覚醒状態)の双方に影響を及ぼします。水が不足すると身体の活動性は落ち、覚醒状態も低下します。1500ml以上の水分を摂取した場合、どのような効果が表れるかというと、まず意識がはっきりしてきます。ウトウトしている、ぼんやりしているご利用者の表情が良くなり、話すことが少しずつ増えてきます。それにより生活を楽しむことに繋がっていきます。また目が覚める事で活性化し、気力の向上にも繋がります。尿・便意も回復し、失禁が無くなるという事にも繋がり、トイレに座ろうとする意欲にも繋がっていくのです。そして、水分摂取量が増える事で肺炎や尿路感染、脳梗塞を予防など高齢者の健康を維持する為の水分ケアの重要性は明らかです。私達の施設においても著明に見られたのが、水分量が増えた事で、転倒による骨折事故が格段に減ったと言う事です。意識レベルが改善し、運動機能が向上すれば、転倒のリスクが低下します。例えば転んだり転落したとしても、危険を回避し上手く転ぶことができ骨折まで至らないと言う事が数多くありました。

オムツ外しのポイント「排泄」

オムツ外しの取り組みは、便秘になりやすい原因を改善させる取り組みでもあります。下剤に頼らず、自然排便を促していく為には次の7つのケアを職員皆で本気になって実践してきました。

- ① 「水 分」 水は便秘の特効薬と言います。水分量が少ないと便自体が乾燥した固い便になってしまい、排泄しにくくなります。胃・大腸反射とは、朝起きたばかりの空っぽの胃に水分や食べ物が入ることで大腸の動きを活発化するものです。それは大蠕動ともいい、便を押し出す速さは、蠕動運動に比べて約200倍と言われ、この大蠕動が起こらないと便秘になるわけです。
- ② 「規則正しい生活」 夜はしっかりと寝て、日中はしっかり起きて過ごす事で、便意をしっかりと感ずることができるようになります。しっかりと日中覚醒して、夜間良く眠る為にも水分を摂ることは大事なこととなります。
- ③ 「運 動」 排便を促す起立大腸反射とは、立ったり歩いたりすることで腸蠕動を活発にするものです。便秘に運動と言われるのはこの反射があるからです。
- ④ 「常 食」 お粥や介護食ではなく、ご飯や普通のおかずを食べる事が、もっとも食物繊維を多く摂れる食事となります。
- ⑤ 「食物繊維、オリゴ糖、乳製品の補てん」 芋類、海藻、野菜は繊維を多く含む食材ですが、それ以外でも、ファイバーや寒天ゼリーなどで補うこともできます。ファイバーもオリゴ糖や乳酸菌飲料もみな、腸内の環境を改善させ腸を元気にします。なぎさの里においても、ファイバー、オリゴ糖を活用しており、これらを飲むことで、排便の間隔が短くなったり、形の良い便にする効果が見られています。
- ⑥ 「定時排便」 加齢に伴い便意が弱くなりやすいため、決まった時間に排便をする習慣付けが必要です。
- ⑦ 「座位排便」 腹圧がしっかり掛けられる状態で排便を行う事が必要です。やはりトイレに座ることが、排便にとって大切だったと感じています。足が床に着いた状態で、前傾姿勢になり、重力を利用し呼吸筋や腹筋を使って「いきむ」ことができます。これは、寝たままの状態では非常に困難です。そのため寝たきり状態の人は、便秘になる確率が非常に高いです。私たちの取り組みの中でも、オムツで寝たきりの方がトイレに座ったら良い排便がみられたということが多くみられました。オムツがいなくなり、トイレで排泄することで、寝たきりの方の離床時間が大幅に増えていきます。

オムツ外しのポイント「食事（常食）」

低栄養の弊害としてよくあげられるのは、体力の低下と抵抗力の低下です。低栄養状態だと疲れやすくなり、病気に罹りやすくなります。低栄養で体力が落ちると一層、活動性の低下を招く結果になり、それが寝たきりにつながり、さらに食欲の低下を招くというように、悪循環に陥ってしまいます。一旦悪循環に陥ると、そこから抜け出すのは大変なことです。栄養バランスの良い常食（1日1500キロカロリー）を摂り続ける必要があります。歩行訓練をしたり、活動量を増やしたりしていく為にも栄養を十分に摂ることが必要です。お粥は普通のご飯に比べて、同量なら低カロリーになり、そのうえ食物繊維の量も少ないです。また、ミキサー食、ペースト食などの介護食は低栄養なうえ、咀嚼をしないで飲み込もうとする為誤嚥を起こしやすく、咀嚼という運動を行わないことで廃用症候群になります。嚥下運動は咀嚼と密接に結びついている為、咀嚼機能が落ちると、嚥下運動もできなくなっていくます。

オムツ外しのポイント「運動（歩行）」

運動、特に歩行が及ぼすさまざまな影響として「意識レベルの改善」「起立大腸反射」「筋力アップ」「血流の改善」があげられます。トイレまで歩くことができればオムツは必要がなくなります。歩行はトイレへの移動手段であると同時に、起立大腸反射とも関係しています。また歩くことで意識レベルが改善し、尿意、便意が改善し、失禁の防止に繋がっていきます。運動する事により当然ながら筋力がつき、それにより行動範囲が広がるばかりか、トイレや入浴の動作も安全に行えるようになり、怪我のリスクも少なくなります。歩行訓練を日々行うことにより、車椅子で過ごされていた多くの方も、再び歩けるようになりました。また、なぎさの里ではパワーリハビリ（高齢者向けトレーニングマシン）を行い、普段使わない筋肉を動かすことで安定した身体の動きや全身の協調性を向上させ、足の運びが良くなったり、座る姿勢、立ち上がりが良くなるなどの基本動作の改善にもつなげています。このように歩行や運動する事は、生活に必要な動作のひとつひとつに影響し合っています。健康な生活を送る上で毎日の運動が重要になってきます。

（オムツ外しの先にあるもの）

現在なぎさの里では入所時にオムツをしている方は、入所時点でオムツを外していただきます。オムツ外しは高齢者の自立へのスタートと位置づけています。そしてオムツ外しは一つの過程にしか過ぎません。オムツを外していく過程で、様々なケアやアプローチを見直していきます。接遇、声掛け、内服薬の見直し、座位姿勢、歩くことを個々に応じて実践できるようチャレンジしていきます。そして4つの基本ケアの値を上げていくことで身体機能を高めることに繋がり、認知症の周辺症状も改善する事も可能になります。それはオムツ外しにとどまらず、高齢者の生きる意欲を取り戻す、自立へ向けた支援そのものです。オムツ外しはあくまで過程であり、最終的に目指すのは「利用者を元気にする」ことです。

長いコロナ禍でフレイルや心身機能の低下が問題となっていますが、オムツ外し（自立支援介護）を実践している事で、状態を維持・向上できている事を実感しています。オムツ外しは免疫を司る腸内環境を良くする事であり、万人に適応できる「健康寿命の延伸」に繋がるものではないでしょうか。

（これからのオムツゼロを目指す皆様へ）

オムツゼロを達成するまでに一番苦労したことは、職員の意識を変えることでした。取り組みを始めた頃は、介護する負担が増える事から抵抗や拒否的、否定的な言動をとる職員もありました。「入所している方はそんな事を望んでいない、嫌がっている」などの発言もあり、やり通すのに苦労しました。負担が増すのは一時的でオムツゼロを達成する頃には削減できたケアも多くあります。例えば、朝方の多量の失禁による寝具交換と全身更衣は稀なものとなり、オムツかぶれは皆無となり、ベッド上でのオムツ交換がなくなります。

現在は、介護保険でも自立支援介護情報システム（L I F E）が導入され、排せつ支援加算でオムツ外しそのものが加算の対象となり、取り組みやすい状況になっていると思います。



令和3年度 臨時総会・支部総会 開催

令和4年3月17日(木)、令和3年度新潟県介護老人保健施設協会 臨時総会と令和3年度 公益社団法人全国老人保健施設協会新潟県支部総会が新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、オンライン形式による同時開催となりました。

はじめに臨時総会を行い、会員数91名のうち委任状41名、出席者8名で臨時総会は成立し、槇の里の斎藤先生に議長を務めていただき議事を進行いたしました。議案はいずれも賛成多数で議決いたしました。

第1号議案

令和4年度事業計画(案)について

第2号議案

令和4年度収支予算(案)について

第3号議案

新潟県介護老人保健施設協会役員の選任について

新潟県介護老人保健施設協会役員 (任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日)		
役職名	役員氏名	施設名
会長	松田 ひろし	米山 爽風 苑
副会長	松田 由紀夫	ケアポートすなやま
副会長	長谷川 まこと	しん あ い 園
理事	荒川 太 郎	やすらぎ 園
理事	佐野 英 孝	常 盤 園
理事	戸澤 和 夫	三 面 の 里
監事	石田 央	越 南 苑
顧問	田中 政 春	楽 山 苑
顧問	馬場 肝 作	やまぼうし

続いて行われた令和3年度 公益社団法人全国老人保健施設協会新潟県支部総会は会員数89名のうち書面表決数38名、出席者数8名で支部総会は成立し、松田ひろし副会長が議長を務め、議事を進行いたしました。議案はいずれも賛成多数で議決いたしました。

第1号議案

全国老人保健施設協会 支部長改選(案)について

第2号議案

代議員等改選(案)について

(公社) 全国老人保健施設協会 新潟県支部 (任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日)		
支部長・代議員	松田 ひろし	米山 爽風 苑
代議員	石田 央	越 南 苑
予備代議員	荒川 太 郎	やすらぎ 園
予備代議員	佐野 英 孝	常 盤 園

令和4年度 事業計画

1 会 議

- (1) 通常総会 規約第11条の規定に基づき、年1回開催する。
- (2) 役員会 必要に応じて開催する。

2 委員会

- (1) 事務長会委員会 (2) 学術研修委員会
- (3) 広報委員会 (4) トラブル防止検討委員会

3 施設運営アンケート調査の実施

介護報酬改定のアンケート等必要に応じて実施する。

4 研修事業

- (1) 事務長会委員会 令和4年度事務長研修
- (2) 学術研修委員会
 - (仮) 認知症リスクマネジメント(メンタルヘルスを含む)
 - (仮) ノーリフト研修会
 - (仮) ライフの取り組みの事例発表
- (3) トラブル防止検討委員会

事故・トラブルの未然防止に向けた活動の一環として、ひやり・はっと事故防止のアンケート調査・集計。

5 機関誌の発行

機関誌「老健にいがた」第51号・第52号を発行する。

令和4年度新潟県介護老人保健施設大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

委員会紹介

任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日

各委員長に抱負を伺いました

〔事務長会委員会〕

委員長 てらどまり 渡 辺 貴 幸

振り返れば、事務長委員会に籍を置かせて頂きながら、色々な事を経験・勉強させて頂き、自分としてはとても充実した委員会の将来に、更に希望を抱いていた令和2年3月…コロナウイルスが感染拡大を続け、世の中すべてにブレーキがかかりました。あれから2年が過ぎ、社会も少しずつコロナウイルスとの付き合い方を学び、正しく恐れてきている感があります。この原稿を書いている6月初旬、感染者数も日々低下が見られ、様々な制限があちこちで緩和されています。当委員会の活動も、ようやく昨年度末にオンライン研修を実施いたしました。当委員会としましては、会員施設が協同して安定した老健の経営が行えればと、微力ながら少しでもお役に立てるよう活動していく所存であります。老健における事務長の立場は、経営安定のために様々な重圧が課せられます。その中でも人材・収支の管理においては、日々ストレスを抱えながらご苦勞されている状況だとお察しいたします。その辺りが少しでも軽減できたり、また上手くお互いが情報交換できる場となるよう、今後も企画・運営に努めて参りたいと思いますので、引き続き皆様方のご支援ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

	施 設 名	氏 名
担当理事(会長)	米 山 爽 風 苑	松 田 ひろし
委 員 長	てらどまり	渡 辺 貴 幸
委 員	ア ビ ラ 大 形	中 村 久美子
	い っ ぶ く	五十嵐 信 行
	く び き の	早 津 隆 一
	やすらぎ園	高 橋 宜 良

〔トラブル防止検討委員会〕

委員長 三川しんあい園 堀 一二美

今年度も「トラブル防止に関するアンケート調査」を既にご送付された施設をはじめ、未だ集計中の施設におかれましても、ご協力頂きありがとうございます。

毎年、内容を理事の先生方と委員一同で協議しておりますが、改善点等ございましたら、協会事務局にご一報頂ければ幸いです。

また、今年度も新型コロナ感染症防止の観点からトラブル防止対策の研修会は中止する運びとなりました。

委員会の活動も何かと制限があり活発にはいきませんが、理事の先生方、各委員ともに円滑な連携を図って行く所存です。重ねて、今後とも皆さまのご意見、ご協力をよろしくお願い致します。

	施 設 名	氏 名
担当理事(会長)	米 山 爽 風 苑	松 田 ひろし
担 当 理 事	三 面 の 里	戸 澤 和 夫
委 員 長	三川しんあい園	堀 一二美
委 員	越 南 苑	千喜良 由美子
	そよかぜ倶楽部	佐 藤 秀 樹
	槇 の 里	笹 川 優 子
	み ず き 苑	美 濃 恵 介
	やまぼうし	相 澤 陽 介

【 学術研修委員会 】

A班委員長 アビラ大形 眞 柄 彰 人

この度、学術研修委員会A班（新潟・下越地区）の委員長を務めさせていただく事になりました、アビラ大形の眞柄彰人と申します。

今から約2年前に発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、皆様の施設でも、今もなお、感染対策に労力を費やしておられることと思います。感染拡大に注意しながらのケア、行事や面会の縮小、中止を余儀なくされ、入所者様やそのご家族様、ケアに携わるすべての方に、多大な影響があったのではないかと、思います。

こうした感染拡大の中でも、研修会を盛り上げるべく、学術研修委員会のメンバー全員で色々な意見を出し合いながら、研修会の企画、運営を頑張っていきたいと思っています。リモートでの研修会が主体となりますが、多くの皆様にご参加いただける様な、施設で実践していける内容の研修会を企画していきたいと思っています。沢山のご参加、お待ちしております。初めての委員長で不慣れな点が多くございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

	施 設 名	氏 名
担当理事(副会長)	ケアポートすなやま	松 田 由紀夫
担 当 理 事	常 盤 園	佐 野 英 孝
A 班 委 員 長	ア ビ ラ 大 形	眞 柄 彰 人
委 員 (A 班)	ケアポートすなやま	野 上 友 恵
	白根ヴィラガーデン	野 口 慶 太
	第二にいがた園	福 山 忠 保
	千 歳 園	鈴 木 雅 士
	女 池 南 風 苑	阿 部 千賀子
	や ま ぼ う し	水 谷 麻 美

B班委員長 グリーンヒル与板 大 堀 肇

前期に引き続き、学術研修委員会B班（中越・上越地区）の委員長を務めさせていただくことになりました、グリーンヒル与板の大堀肇と申します。

皆様におかれましては日々感染症対策へのご尽力お疲れ様です。新潟県の新型コロナウイルス新規感染者数も一時期は900人を超え1000人に迫りましたがその後は減少傾向を辿り、現在は感染対策を緩和することで社会経済の再生方向に舵が切られています。

その中で今年度の全国老健大会は3年ぶりの開催が予定されるなど徐々にコロナ前の日常に戻りつつあります。県老健大会は今年も中止とさせていただく方向が示されましたが、研修会については昨年度に引き続きZoomなどを利用したオンライン研修が開催される予定となっており、受講してくださる皆様が新たな気づきや学ぶ楽しさを施設に持ち帰り、前向きに介護の仕事ができるよう企画運営させていただきます。

コロナ禍において施設内外での集合研修が難しい中、情報発信と交流機会の役割が担えるよう努めてまいりたいと思います。コロナの1日も早い収束を願いつつまた皆様と研修会や老健大会等でお会いできるのを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。

	施 設 名	氏 名
B 班 委 員 長	グ リ ー ン ヒ ル 与 板	大 堀 肇
委 員 (B 班)	国 府 の 里	荻 井 夏 江
	春 風 堂	滝 沢 健 太
	て ら ど ま り	渡 部 綾 子
	桃 李 園	穴 澤 勝 也
	米 山 爽 風 苑	大 井 めぐみ
	楽 山 苑	水 落 清 吾

〔 広報委員会 〕

委員長 やすらぎ園 岡 本 直 樹

「地域に根付いた、身近な話題をタイムリーに届けよう!!!」

前期に続き、今年度も広報委員を務めさせていただきます老人保健施設やすらぎ園の岡本と申します。日頃より、会員施設の皆様からは、老健にいがたの発行に際し原稿執筆をはじめ、広報活動にご協力いただき、この場を借りてお礼申し上げます。

前期は新型コロナウイルス感染症の影響により、老健にいがた48号の発行延期や委員会のZoom開催など広報委員会でも大きな変化を余儀なくされました。しかしながら、欧米の他、日本国内でも感染症に対する様々な制限の緩和が進む社会の波に対して、理事の先生方、事務局、各委員が知恵を出し合い、少しでもポジティブに活動を行えればと思います。今期も新しい委員を迎え、広報委員会の伝統でもあるチームワークを最大限に発揮し、魅力ある情報を発信して参ります。宜しくお願いいたします。

	施 設 名	氏 名
担当理事(副会長)	し ん あ い 園	長谷川 まこと
担 当 理 事	や す ら ぎ 園	荒 川 太 郎
委 員 長	や す ら ぎ 園	岡 本 直 樹
委 員	い い で の 里	五十嵐 武 士
	越 南 苑	山 田 裕 美
	グリーンヒル与板	遠 藤 直 人
	ケアポートすなやま	長谷川 麻美子
	さ く ら 苑	栗 山 美 咲
	し ん あ い 園	伊 藤 和 代
	松 浜 さ く ら 園	坂 上 祐 介
	や ま ぼ う し	須 貝 聡
	楽 山 苑	中 嶋 夏 子



新潟県介護老人保健施設協会 介護報酬加算等の算定状況アンケート 結果報告

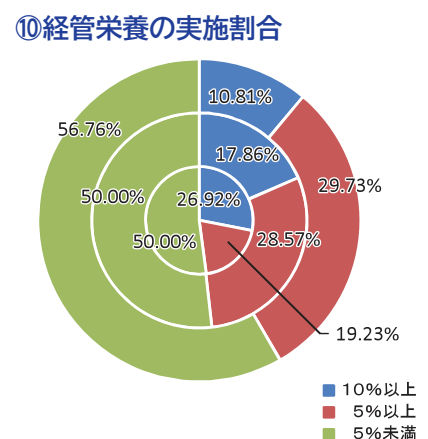
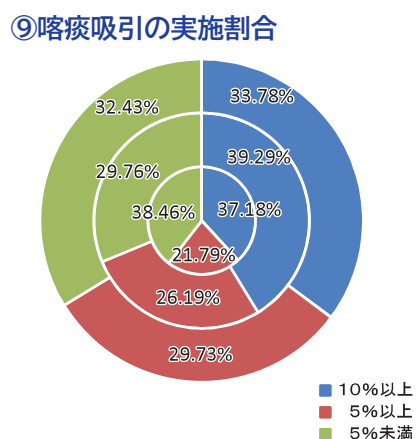
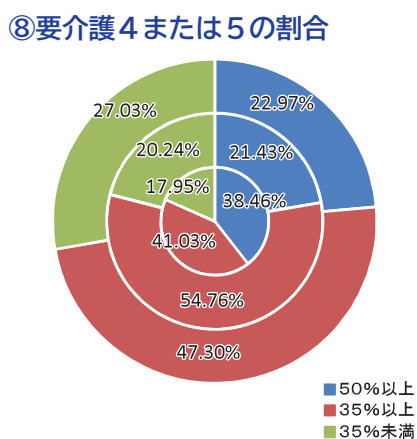
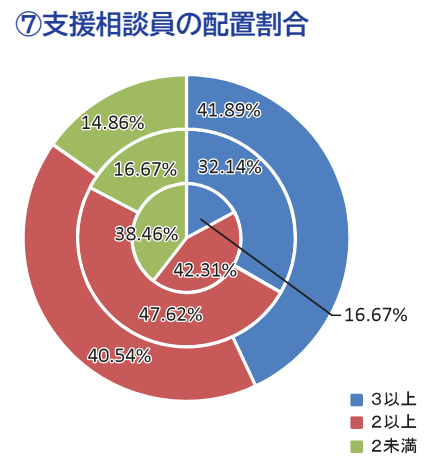
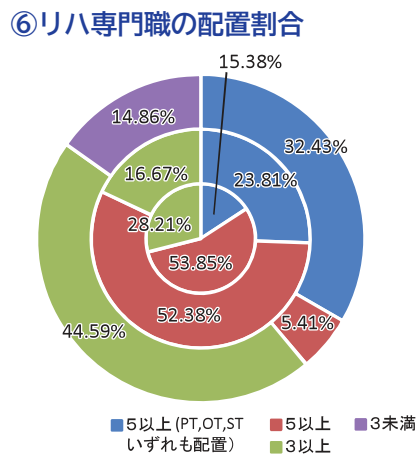
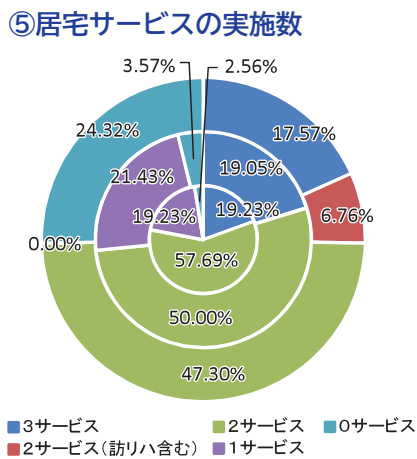
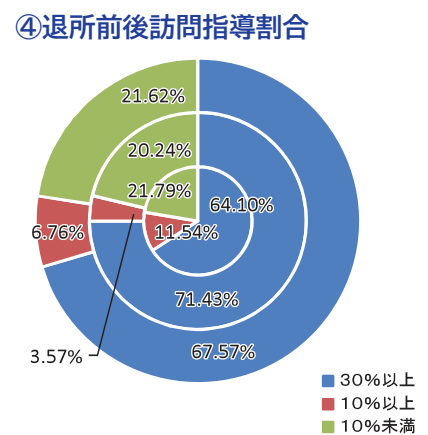
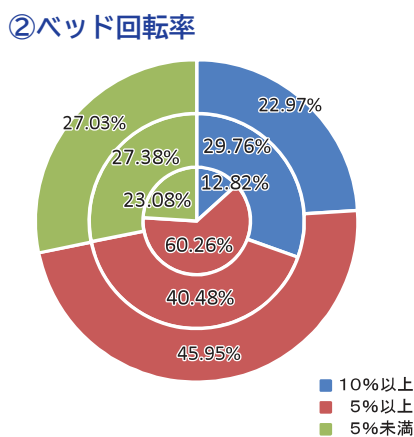
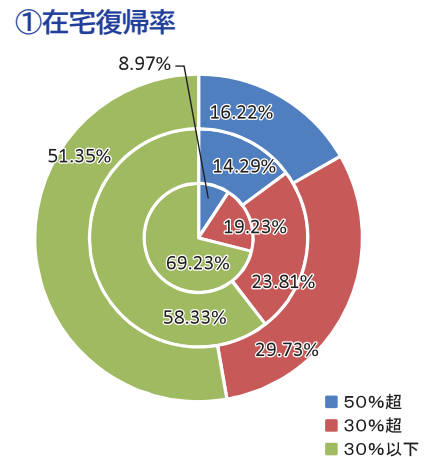
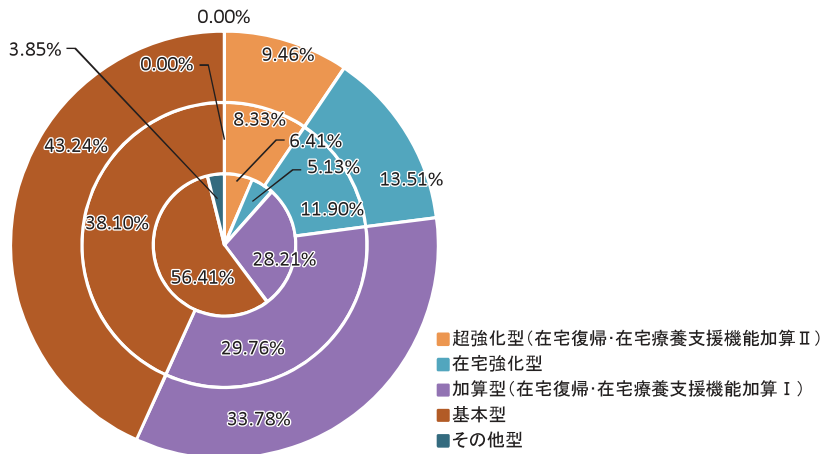
2019年、2021年、2022年（4月現在）の算定状況のアンケート調査を実施いたしました。その集計結果を報告いたします。

項 目	回答施設 78/94 回答率 83.0%		回答施設 84/91 回答率 92.3%		回答施設 73/89 回答率 88.8%	
	2019年度		2021年度		2022年度	
	算定している	算定割合(%)	算定している	算定割合(%)	算定している	算定割合(%)
・介護保健施設サービス費						
・ユニット型						
介護保健施設サービス費						
① 在宅復帰率						
超強化型(在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ)	5	6.41%	7	8.33%	7	9.46%
在宅強化型	4	5.13%	10	11.90%	10	13.51%
加算型(在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ)	22	28.21%	25	29.76%	25	33.78%
基本型	44	56.41%	32	38.10%	32	43.24%
その他型	3	3.85%	0	0.00%	0	0.00%
50%超	7	8.97%	12	14.29%	12	16.22%
30%超	15	19.23%	22	23.81%	22	29.73%
30%以下	54	69.23%	38	58.33%	38	51.35%
② ベッド回転率						
10%以上	10	12.82%	17	29.76%	17	22.97%
5%以上	47	60.26%	34	40.48%	34	45.95%
5%未満	18	23.08%	21	27.38%	20	27.03%
③ 入所前後訪問指導割合						
30%以上	52	66.67%	51	67.86%	51	68.92%
10%以上	11	14.10%	13	15.48%	13	17.57%
10%未満	14	17.95%	8	13.10%	8	10.81%
④ 退所前後訪問指導割合						
30%以上	50	64.10%	50	71.43%	50	67.57%
10%以上	9	11.54%	5	3.57%	5	6.76%
10%未満	17	21.79%	17	20.24%	16	21.62%
⑤ 居宅サービスの実施数						
3サービス	15	19.23%	16	19.05%	13	17.57%
2サービス(訪リハ含む)					5	6.76%
2サービス	45	57.69%	42	50.00%	35	47.30%
1サービス	15	19.23%	18	21.43%	0	0.00%
0サービス	2	2.56%	3	3.57%	18	24.32%
⑥ リハ専門職の配置割合						
5以上(PT,OT,STいずれも配置)					24	32.43%
5以上	12	15.38%	20	23.81%	4	5.41%
3以上	42	53.85%	44	52.38%	33	44.59%
3未満	22	28.21%	14	16.67%	11	14.86%
⑦ 支援相談員の配置割合						
3以上	13	16.67%	27	32.14%	31	41.89%
2以上	33	42.31%	40	47.62%	30	40.54%
2未満	30	38.46%	14	16.67%	11	14.86%
⑧ 要介護4又は5の割合						
50%以上	30	38.46%	18	21.43%	17	22.97%
35%以上	32	41.03%	46	54.76%	35	47.30%
35%未満	14	17.95%	17	20.24%	20	27.03%
⑨ 喀痰吸引の実施割合						
10%以上	29	37.18%	33	39.29%	25	33.78%
5%以上	17	21.79%	22	26.19%	22	29.73%
5%未満	30	38.46%	25	29.76%	24	32.43%
⑩ 経管栄養の実施割合						
10%以上	21	26.92%	15	17.86%	8	10.81%
5%以上	15	19.23%	24	28.57%	22	29.73%
5%未満	39	50.00%	42	50.00%	42	56.76%
LIFEに対応している						
夜勤職員配置加算	63	80.77%	72	85.71%	64	86.49%
短期集中リハビリテーション実施加算	68	87.18%	72	85.71%	66	89.19%
認知症短期集中リハビリテーション実施加算	22	28.21%	23	27.38%	27	36.49%
認知症ケア加算	16	20.51%	15	17.86%	15	20.27%
若年性認知症利用者受入加算	4	5.13%	14	16.67%	10	13.51%
ターミナルケア加算	40	51.28%	47	55.95%	45	60.81%
療養体制維持特別加算Ⅰ	3	3.85%	1	1.19%	1	1.35%
療養体制維持特別加算Ⅱ	1	1.28%	1	1.19%	1	1.35%
初期加算	76	97.44%	80	95.24%	73	98.65%
再入所時栄養連携加算	6	7.69%	5	5.95%	5	6.76%
入所前後訪問指導加算(Ⅰ)	49	62.82%	55	65.48%	55	74.32%
入所前後訪問指導加算(Ⅱ)	16	20.51%	17	20.24%	18	24.32%
退所時指導等加算						
試行的退所時指導加算	6	7.69%	7	8.33%	9	12.16%
退所時情報提供加算	61	78.21%	58	69.05%	52	70.27%
入退所前連携加算(Ⅰ)	60	76.92%	26	30.95%	28	37.84%
入退所前連携加算(Ⅱ)			38	45.24%	34	45.95%
訪問看護指示加算	5	6.41%	11	13.10%	11	14.86%
栄養マネジメント加算	75	96.15%	廃止		廃止	
栄養マネジメント強化加算			6	7.14%	18	24.32%
低栄養リスク改善加算	9	11.54%	廃止		廃止	
経口移行加算	11	14.10%	11	13.10%	6	8.11%
経口維持加算(Ⅰ)	36	46.15%	38	45.24%	38	51.35%
経口維持加算(Ⅱ)	24	30.77%	28	33.33%	27	36.49%
口腔衛生管理体制加算	49	62.82%	廃止		廃止	
口腔衛生管理加算(Ⅰ)	13	16.67%	18	21.43%	8	10.81%
口腔衛生管理加算(Ⅱ)			4	4.76%	12	16.22%
療養食加算	73	93.59%	77	91.67%	68	91.89%
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅰ)	4	5.13%	3	3.57%	2	2.70%
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)			1	1.19%	0	0.00%
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅲ)			1	1.19%	1	1.35%
緊急時施設療養費						
緊急時治療加算	22	28.21%	25	29.76%	23	31.08%
特定治療	4	5.13%	1	1.19%	1	1.35%
所定疾患施設療養費						
所定疾患施設療養費(Ⅰ)	36	46.15%	40	47.62%	37	50.00%
所定疾患施設療養費(Ⅱ)	19	24.36%	25	29.76%	23	31.08%
認知症専門ケア(Ⅰ)	0	0.00%	1	1.19%	1	1.35%
認知症専門ケア(Ⅱ)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
認知症行動・心理症状緊急対応加算	1	1.28%	0	0.00%	1	1.35%
認知症情報提供加算	1	1.28%	1	1.19%	2	2.70%
地域連携診療計画情報提供加算	3	3.85%	2	2.38%	1	1.35%
リハビリテーションマネジメント計画書情報加算			16	19.05%	32	43.24%
褥瘡マネジメント加算	28	35.90%	22	26.19%	廃止	
褥瘡マネジメント加算						
褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)			10	11.90%	33	44.59%
褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)			5	5.95%	24	32.43%
褥瘡マネジメント加算(Ⅲ)			7	8.33%	3	4.05%
排せつ支援加算	12	15.38%	10	11.90%	廃止	
排せつ支援加算						
排せつ支援加算(Ⅰ)			7	8.33%	23	31.08%
排せつ支援加算(Ⅱ)			3	3.57%	8	10.81%
排せつ支援加算(Ⅲ)			2	2.38%	3	4.05%
排せつ支援加算(Ⅳ)			2	2.38%	0	0.00%
自立支援促進加算			7	8.33%	6	8.11%
科学的介護推進体制加算			14	16.67%	22	29.73%
科学的介護推進体制加算(Ⅱ)			10	11.90%	23	31.08%
安全対策体制加算			40	47.62%	49	66.22%
サービス提供体制強化加算						
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)			58	69.05%	54	72.97%
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)イ(Ⅱ)	70	89.74%	21	25.00%	8	10.81%
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)ロ	5	6.41%				0.00%
サービス提供体制強化加算(Ⅱ)(Ⅲ)	2	2.56%	3	3.57%	7	9.46%
サービス提供体制強化加算(Ⅲ)	0	0.00%				0.00%
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	49	62.82%	62	73.81%	55	74.32%
介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	13	16.67%	9	10.71%	6	8.11%
介護職員処遇改善加算(Ⅲ)	10	12.82%	7	8.33%	5	6.76%
介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)	0	0.00%	61	72.62%	55	74.32%
介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)	0	0.00%	6	7.14%	7	9.46%

ご協力いただきました施設の皆様ありがとうございました。

算定施設区分

結果報告の在宅復帰指標について円グラフで表示しました。
内周から順に2019年、2021年、2022年のデータです。



それぞれの個性に合わせて

新井愛広苑
作業療法士 松下 裕

新井愛広苑は、新潟県の南西部に位置し、スキーや温泉で有名な妙高山、斑尾高原に隣接している施設です。日本有数の豪雪地であり、大自然に囲まれた環境で四季を満喫できます。

新井愛広苑では数年前より2～5人程度の小集団でのリハビリを行ってきました。始めるきっかけとなったのは、認知症のフロアを担当するリハスタッフからの「フロアの30名全員が同じ内容で集団リハビリをするのは難しい」という意見からでした。確かに認知症の症状も違えば、身体機能もそれぞれ違い、

集団リハビリでは、できる人とできない人がはっきり分かれてしまっていました。だったらそれぞれの機能や状態に合わせてできることを小さな集団で行ったらいいのではないかということで小集団のリハビリが始まりました。

今は主に貼り絵など、ひとつの大きな作品を、小さな集団ごとに分担を決めて行っています。大人数や個別での関わりでは「そんなのできないから」と手作業を好まなかった方も、小さな集団になれば「みんなと一緒に私もやってみようかしら」と手が進む方もいます。

これからも1人ひとりの個性を大切にしながら、その方の一瞬一瞬によりそった関わりを心がけていきたいです。



笑顔の力

いっぶく
支援相談員 大滝 浩史

当施設は三条市下田地区に位置し、近くには市の名勝にも選ばれている八木ヶ鼻が四季折々の風景を見せてくれます。開設22年目を迎え、ご利用者が自分らしい生活を送れるよう多職種で支援しています。

近年のコロナ禍の為、約2年近く外出や面会などが制限され、ストレスを感じたり意欲が低下する方もいらっしゃいます。ご利用者が楽しみにさ

れていた近隣の学校、保育園と交流会も行えていませんでした。それでも、学校からの心遣いによって『音楽発表会』の様子を収めたDVDを頂き、鑑賞会を行いました。

子供たちが楽しそうに演奏や歌っている姿があり、たくさんの笑顔がみられました。観ていたご利用者も笑顔になり、普段あまりお話されない方も「孫のようだ」と喜ばれたり、涙ぐむ方もおられました。今後は、当施設からも子供たちとの交流活動が提案できるよう検討していきたいと思っています。

コロナ禍でも、今できる事を大切にして、ご利用者が笑顔になれる活動を充実できるよう努力していきます。



野菜の皮むきなら任せなっせ

いわむろの里
理学療法士 吉田 隆志

いわむろの里は週に1回野菜の皮むきをリハビリの一環で行なっています。ピーラーを安全に使用できる方は、それを使って人参の皮をむいていただきます。少し自信の無い方は切れ目を入れた玉ねぎを手でむいていただきます。認知症により活動が低下した方も野菜の皮むきはビックリするくらい上手にやってくれます。そして皆さん仕事が早い。人参は取り合いになります。玉ねぎは切れ目を入れるのが間に合いません。日頃からやっていたからでしょうか、体に染みついているのでしょうか。始め話しながらしていても真剣になり過ぎて無言で黙々とされる方もいらっしゃいます。感染予防の為始める前と終わってからは石鹸でしっかり手を洗っていただきます。

これからも利用者様のより良い生活が送れるよう、手助けが出来ればと思います。



憩いの場としての庭園整理

ヴィラ菅谷
事務長 市川 智樹

当施設は、二王子岳のふもと、田んぼや小川に囲まれた自然豊かな場所に位置しています。そんな雄大な自然の中にある敷地内の散歩も利用者様の楽しみの一つです。

最近取り組んでいるのが、庭園の整備です。一時は雑草だらけになることもありましたが、職員や利用者様の努力で、最近はいきれいな植込みや草花が蘇ってきました。玄関アプローチには、運転員さんが手作りの盆栽も飾りました。

もともと小学校があった（明治5年～昭和56年）土地のせいか、敷地には桜やイチョウの大きな木が多くあります。利用者様は、憩いの場としての敷地内で、花見、紅葉、草花や家庭菜園を楽しむことができます。

また、たまたま樹木整理のために土を掘り起こしていたら、旧石川小学校の石碑のそばに見事な石段があることがわかりました。この10年間は土に埋まっていたことがない石段でした。石碑のそばには、当時の小学校で使われていた掲揚台やなぜか鉄製の赤丸ポストも残っていて、昔を知る人はとても懐かしがっています。

ヴィラ菅谷も今年で25周年を迎えました。これからも明るく家庭的な雰囲気の中で、地域との結びつきを大切にしたいサービスを提供してまいります。



美味しさと安全を欲張って！

エバーグリーン
管理栄養士 熊谷 真由美

当施設エバーグリーンでは『食事』が楽しみや生きがいに繋がるよう、日々の食事を作っています。栄養科内で「行事食」「おやつ」「嚥下食」のチームを結成しました。それぞれのチーム内で見栄えも良く美味しい行事食やおやつの試作会を行っています。コロナ禍の折、ウェブ研修を通じてご利用者が美味しく安全に食事を楽しんでいただける様に工夫を続けています。

今年のおせちでは“彩り”をテーマに盛り付け、提供いたしました。定番の伊達巻、栗きんとん、昆布巻き、なますに天ぷらも入り、見た目も豪華なものに仕上がりました。飲み込みが難しい方へも美味しさと見た目を考慮して、食べやすいムース食という食事形態にして提供いたしました。これからも美味しさ・安全を欲張りに追及していきたくと考えています。



みんなで楽しみましょう!! ～リハビリの一環として～

おぎの里
理学療法士 齋藤 亜記

当施設は秋葉区の広大な水田が広がる場所に建ち、田植えや稲刈りを見て季節を感じることができます。冬には毎年白鳥が到来し、春には隣接する公園で、利用者の皆様と満開の桜を見ることができます。

2020年11月より、在宅強化型老健施設として運営しており、主なサービスの内訳として、入所、短期入所（ショートステイ）、通所リハビリテーション（デイケア）があります。入所やショートステイでは、在宅生活へ向けて他職種と連携を図りながら、環境整備や日常生活動作などの獲得を目標にリハビリを行っています。デイケアは6～7時間の1日型であり、リハビリ、入浴、食事をして過ごしていただきます。

現在はコロナ感染予防のため、商業施設へのお出かけ企画やボランティアさんが来所しての演奏やダンス等の企画が行えていない状況です。しかし、リハビリの一環で屋外歩行練習や、施設



内でのレクリエーション・行事を継続しています。夏祭りや文化祭、クリスマス会など職員が利用者の皆様に楽しんでいただけるよう、毎年企画をしています。行事を通じて、得意だった踊りや書字、歌など披露される方もいらっしゃいます。利用者のモチベーションや生活の質（QOL）向上にも繋がる絶好の機会ですので、これからも大事にしていきたいです。引き続き、利用者の皆様が笑顔で過ごせるよう、職員一同支援させていただきます。

「尾山塾」を活用した 自立支援アプローチ

尾山愛広苑
作業療法士 小林 由美

当施設で行った、「尾山塾」の取り組みについて紹介したいと思います。尾山塾とは、健康的な生活について考えることを目的にした、ご利用者と一緒に行う勉強会です。

「生活を見直そう!」というテーマで行った尾山塾では、リハビリ職員が講義を行った後に、興味・関心チェックシートを基にして①今後やってみたい生活行為、または今後も継続していききたい生活行為を選び、さらに、②どうすればそれが実現できるかを考えてもらいました。

①については、料理を作る、庭の手入れを行うなどの意見が挙がりました。改めて生活を振り返ることで、前向きにやりたいことを考えてくれた方が多くいました。一方で②については、ガスに手が当たりそうで怖い、リハビリが必要との回答があり、実際に行うことについては、不安があるように見受けられました。

私たちから確認や助言をするだけでなく、ご利用者の主体性を引き出すために、お互いに困っていることや、日々感じていることの意見交換を促しました。料理に関しては、管理栄養士にもサポートしてもらいながら、サラダや漬物など火を使わない料理をする、レンジを使ってみてはどうか?などの意見が挙がりました。庭の手入れに関しては、椅子に座って草取りをすると良い、私は膝が悪いからかがんでやっている、といった意見も挙がりました。



意見交換を通して、ご利用者同士による自己開示や内省を促し、自尊感情を高めるなどの効果をもたらすことができたとも考えます。

今後、尾山塾で得られた情報を多職種で共有し、ご利用者の自立生活をより効果的に支援していきたいと思っています。

食べる楽しみ

亀田園
管理栄養士 杵鞭 さおり

亀田園では、日々の生活の中で食べることは楽しみや生きがいの上からも重要であると考え、旬の食材を使用し、季節のイベント食に力を入れています。

中でもリクエストの多いお寿司は年2回計画し、常食の他、咀嚼機能が低下している方の食べたいという希望を叶えるためにソフト寿司も提供しています。

ソフト寿司はゼラチンを入れシャリをやわらかく炊き上げ、ネタは細かく刻み少しトロミをつけることで嚥下しやすくしています。

また、居室担当の介護職員から「普段、全粥やミキサー食を食べているけど、お寿司が食べたいと希望していて」と相談を受けることがありました。その際には、ご本人の希望を叶えるためにどうしたらよいか、多職種間でカンファレンスを重ね、刻んだマグロをミキサー粥にのせ提供しました。職員の介助のもとで食べていたときのご本人の喜んで食べている姿に職員も嬉しくなりました。



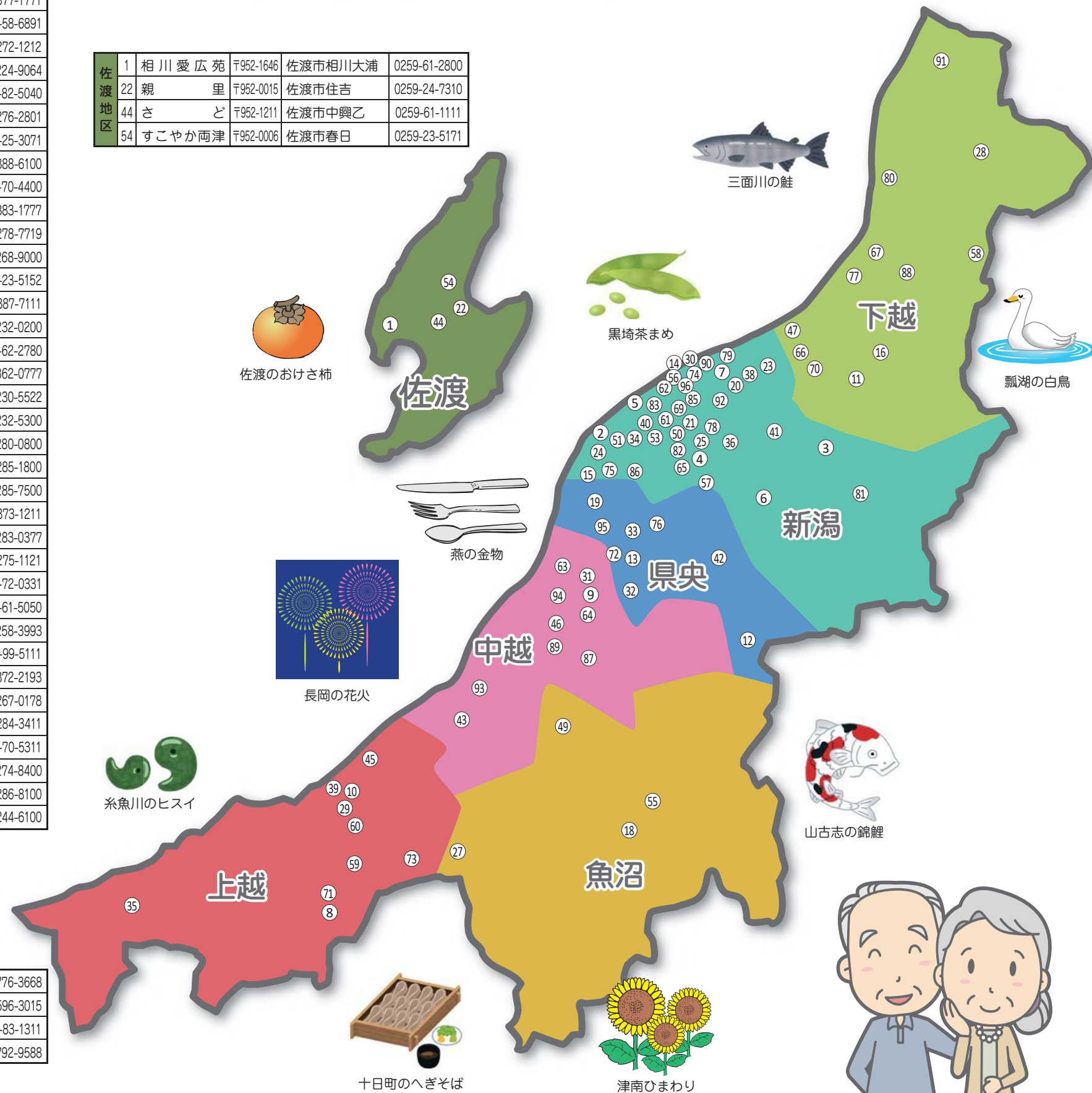
コロナ禍の感染対策によりできることが縮小される中、入所者の皆様のご要望をお聞きすることで食事への楽しみが引き出せ、満足感が得られて美味しかった、お腹がいっぱいになったと明るい気持ちになっていただけるよう、今後も取り組んでいきたいと考えています。

新潟県 老健マップ

新潟県	2	あかつか苑	〒950-2261	新潟市西区赤塚	025-239-0021
	3	阿賀の庄	〒959-2221	阿賀野市保田	0250-68-1700
	4	夢眠あきは	〒956-0827	新潟市秋葉区大関	0250-25-3331
	5	あすか	〒950-1122	新潟市西区木場	025-377-1771
	6	愛宕の里	〒959-1707	五泉市村松	0250-58-6891
	7	アピラ大形	〒950-0802	新潟市東区一日市	025-272-1212
	14	入舟	〒951-8011	新潟市中央区入船町	025-224-9064
	15	いわむろの里	〒953-0103	新潟市西蒲区橋本	0256-82-5040
	20	大江山園	〒950-0105	新潟市江南区大洲	025-276-2801
	21	おぎの里	〒956-0012	新潟市秋葉区荻野町	0250-25-3071
	23	尾山愛広苑	〒950-3304	新潟市北区木崎	025-388-6100
	24	回生園	〒959-0425	新潟市西蒲区押付	0256-70-4400
	25	亀田園	〒950-0168	新潟市江南区早通	025-383-1777
	30	くわの実の郷	〒950-0036	新潟市東区空港西	025-278-7719
	34	ケアポートすなやま	〒950-2044	新潟市西区坂井砂山	025-268-9000
	36	健進館	〒956-0025	新潟市秋葉区古田	0250-23-5152
	38	江風苑	〒950-3364	新潟市北区大迎	025-387-7111
	40	こばり園	〒950-2022	新潟市西区小針	025-232-0200
	41	五頭の里	〒959-2093	阿賀野市岡山町	0250-62-2780
	50	白根ヴィラガーデン	〒950-1203	新潟市南区大通黄金	025-362-0777
	51	しんあい園	〒950-2076	新潟市西区上新栄町	025-230-5522
	53	健やか園	〒950-2023	新潟市西区小新	025-232-5300
	56	晴和会上所園	〒950-0993	新潟市中央区上所中	025-280-0800
	61	第二にいがた園	〒950-1144	新潟市江南区祖父興野	025-285-1800
	62	千歳園	〒950-0965	新潟市中央区新光町	025-285-7500
	65	常盤園	〒950-1262	新潟市南区西白根	025-373-1211
	69	にいがた園	〒950-0951	新潟市中央区鳥屋野	025-283-0377
	74	ほほえみの里きど	〒950-0891	新潟市東区上木戸	025-275-1121
	75	横の里	〒953-0041	新潟市西蒲区巻甲	0256-72-0331
	78	マチュアハウス横越	〒950-0217	新潟市江南区阿賀野	0250-61-5050
	79	松浜さくら園	〒950-3112	新潟市北区太夫浜	025-258-3993

魚沼地区	18	越南苑	〒949-7101	南魚沼市五日町	025-776-3668
	27	希望の里松清園	〒942-1342	十日町市浦田	025-596-3015
	49	春風堂	〒947-0043	小千谷市山谷	0258-83-1311
	55	清流苑	〒946-0031	魚沼市原虫野	025-792-9588

佐渡地区	1	相川愛広苑	〒952-1646	佐渡市相川大浦	0259-61-2800
	22	親里	〒952-0015	佐渡市住吉	0259-24-7310
	44	さど	〒952-1211	佐渡市中興乙	0259-61-1111
	54	すこやか両津	〒952-0006	佐渡市春日	0259-23-5171



下越地区	11	いいでの里	〒957-0014	新発田市金谷	0254-22-5802
	16	ヴィラ菅谷	〒959-2516	新発田市下石川	0254-31-2000
	28	杏園	〒958-0261	村上市猿沢	0254-60-2222
	47	汐彩の郷	〒957-0105	聖籠町次第浜	0254-28-0555
	58	関川愛広苑	〒959-3261	関川村湯沢	0254-60-4025
	66	豊浦愛広苑	〒959-2311	新発田市荒町甲	0254-21-0065
	67	中条愛広苑	〒959-2619	胎内市十二天	0254-46-5600
	70	二王子	〒957-0332	新発田市虎丸	0254-25-3737
	77	マチュアハウス中条	〒959-2708	胎内市中村浜	0254-45-5111
	80	三面の里	〒958-0854	村上市田端町	0254-53-5330
下越地区	88	やまぼうし	〒959-2805	胎内市下館	0254-47-3303
	91	優和の里	〒959-3942	村上市勝木	0254-60-5000

県央地区	12	いっぶく	〒955-0132	三条市長野	0256-41-3810
	13	いっぶく2番館	〒959-1117	三条市帯織	0256-45-0380
	19	エバーグリーン	〒959-0211	燕市富永	0256-92-3030
	32	ケアプラザ見附	〒954-0052	見附市学校町	0258-63-5100
	33	ケアホーム三条	〒955-0833	三条市大野畑	0256-32-7711
	42	さくら苑	〒959-1327	加茂市千刈	0256-53-5353
	57	晴和会田上園	〒959-1512	田上町羽生田乙	0256-46-7777
	72	ぶんすい	〒959-0113	燕市笹ヶ島	0256-91-3333
	76	マザリー三条	〒955-0053	三条市北入蔵	0256-38-7500
	95	「楽 楽」	〒959-1263	燕市大曲	0256-62-2671

中越地区	9	あらまち	〒940-0025	長岡市泉	0258-30-0388
	31	グリーンヒル与板	〒940-2416	長岡市与板町横原	0258-72-2500
	43	さつき荘	〒945-1355	柏崎市軽井川	0257-23-6255
	46	サンブラザ長岡	〒940-2111	長岡市三ツ郷屋町	0258-27-1515
	63	てらどまり	〒959-0152	長岡市寺泊下桐	0256-97-3200
	64	桃李園	〒940-2126	長岡市西津町	0258-47-3003
	87	やすらぎ園	〒940-1111	長岡市町田町	0258-33-5551
	89	悠遊苑	〒940-2138	長岡市日越	0258-47-8511
	93	米山爽風苑	〒945-1392	柏崎市茨目	0257-22-0111
	94	案山苑	〒940-2301	長岡市宮沢	0258-42-3500

上越地区	8	新井愛広苑	〒944-0331	妙高市小原新田	0255-81-1181
	10	アルカディア上越	〒943-0172	上越市大道福田	025-524-3171
	29	くびきの	〒943-0834	上越市西城町	025-526-2161
	35	ケアポートよしだ	〒941-0067	糸魚川市横町	025-553-2682
	39	国府の里	〒942-0081	上越市五智	025-544-2525
	45	サンクス米山	〒949-3255	上越市柿崎区上下浜	025-536-6622
	59	そよかぜ倶楽部	〒943-0864	上越市今泉	025-522-8700
	60	高田の郷	〒943-0147	上越市新南町	025-526-2558
上越地区	71	はねうまの里	〒944-8501	妙高市田町	0255-72-3199
	73	保倉の里	〒942-0314	上越市蒲川原区顕聖寺	025-599-3990

新井愛広苑

通所リハビリテーションをご利用の方で玄関に大きな作品を作製しています。4月は残雪の妙高山に満開の桜が咲きました。これから1年かけて緑の葉が出て、紅葉し、雪景色へと変わり、四季の移ろいを感じられることでしょう。



いっぷく

貼り絵の作品をご利用者と制作しました。細かな作業にも関わらず皆さんとても良い表情で沢山の笑顔を見ることができました。完成時には、「完成だね〜」「良く出来たね〜」等、喜びの声も聞かれました。



いわむろの里

ネット手芸

利用者様のネット手芸の作品です。これはティッシュボックスですが、状差しや蓋付きの箱も出来ます。時々、目を間違えてしまい糸をほどいてやり直す事も…。完成品はご家族に渡したりお部屋で使ったりしています。



ヴィラ菅谷

毎年年末年始に、各フロアで新しい干支の貼り絵を作成します。入所の方々が16分割された下絵に指定された色の折紙を貼っていき、職員が合体。色が合わないこともあります。1年間目立つ場所に飾って、「今年」を確認し合っています。



エバーグリーン

今年の干支である「寅」をテーマに、デイケアのご利用者有志が一生懸命にちぎり絵で寅を制作してくださいました。大人数での制作・大きな用紙を使用したこともあり、作業を終えた瞬間は自然と歓喜の拍手が沸き上がりました。作成したちぎり絵の寅のように強く美しく凛として生きたいものですね。



おぎの里

当施設の通所リハビリでは、リハビリテーションの一環として、毎月、利用者様に習字や貼り絵作業を行っていただきます。

どんな書や絵が見られるのか、毎月の楽しみになっています。



尾山愛広苑

ちぎり絵作成時の様子です。入所のご利用者に、紙をちぎって、こいのぼりの鱗を作り、下絵に貼っていただきました。集団で行うからこそ、認知症の方もやる気が出たり、教え合って進めたりすることができ、達成感のある笑顔と拍手を引き出すことができています。



亀田園

毎月1回、俳句教室を開催し、数名の利用者様と俳句の作成を行っています。毎月季節に合わせたお題を提示し、それについての昔ばなしなどに花を咲かせ、利用者様と職員と一緒に楽しく活動しています。



編集後記

「老健にいがた」第51号を無事に発刊することができました。原稿の依頼に際して、快く承諾して頂きましたことに厚くお礼を申し上げます。令和3年度もコロナウイルス感染症対策に追われた日々でした。サービスの質を維持しつつ様々な工夫を凝らしていることと存じます。新たな変異株の発生もあり、終息はいつになる事か…。また、インフルエンザ同様の5類となるのか？第52号発刊頃には治まる事を願うばかりです。暑さ厳しい折、引き続き十分な感染予防対策を講じてまいりましょう。

(広報委員一同)

新潟県介護老人保健施設協会広報誌 「老健にいがた」第51号

編集・発行 新潟県介護老人保健施設協会
広報委員会

〒945-1392 新潟県柏崎市大字茨目字ニッ池2071番地1
介護老人保健施設米山爽風苑内
TEL (0257) 22-0111
FAX (0257) 22-0112

URL <http://niigata-rouken.org/>

印刷 野崎印刷株式会社